

令和8年5月6日北谷町議会定例会

議長選挙における所信表明（9月29日）

阿波根 弘 議員

私はこれまで、町議会議員として7期、議員活動を続けてまいりました。

その間、県議会議員選挙にも挑戦しました。そして町長選挙にも、二度挑戦しました。

しかし、いずれも結果は敗戦でありました。選挙に負けるということは、決して楽な経験ではありません。しかし今振り返りますと、私は多くのことを学ぶことができたと思っています。

自分の考えだけでは人は動かない。人にはそれぞれの立場があり、考えがあり、事情があります。そして、自分とは違う意見にもまず耳を傾けることが大切であり、人のありがたさが分かることができました。

そして、自分自身を見つめ直すことができ、私にとって大きな財産となりました。

そして今回の町議会議員選挙では、多くの町民の皆様から負託をいただき、再びこの議場に立たせていただいています。

私は、この結果を自分への評価だけとは考えておりません。これまでの経験を北谷町のために生かし、もう一度しっかり働け。そういう町民からの責任をいただいたものと受け止めています。

だからこそ私は今回、議長というたいへん重い職責に挑戦する決意をいたしました。

私が目指す議会は、誰か一人の議会ではありません。ベテランも新人も、多数も少数も、考え方や立場が違って、19名一人ひとりが町民から選ばれた議員であることに変わりはありません。私はその一人ひとりを大切にします。

公平、公正を基本として、言うべきことを言える議会、そして相手の意見にも耳を傾ける議会をつくっていききたい。議員同士が違いを乗り越えて、北谷町のために知恵を出し合える議会にしていきたいと考えています。

私は7期という経験があります。だからこそ、議会は一人では何もできないということ、誰よりも分かっているつもりです。

私は「人の声を聞くこと」の重さも学びました。私は、その経験を議長という立場で生かしたい。議長が前に出過ぎるのではなく、必要な時には前に出る。まとめる時にはまとめる。そして、議員が力を発揮するときには一歩下がって支える、守る。

私は、そういう議長を目指します。

これからの北谷町には、基地問題、子育て、教育、福祉、防災、地域経済、まちづくりなど、待ったなしの課題が山積しています。だからこそ、議会がパラバラではいけません。

意見は違っていい。議論は大いにやればいい。しかし最後は、「北谷町のため、町民のため」という一点で力を合わせる。

私は、その中心で議員をつなぐ役割を果たしてまいります。これまでの経験すべてを北谷町議会のために生かす覚悟です。公平に。公正に。そして謙虚に 19 名全員が力を発揮できる議会を、皆様とともにつくってまいります。

以上、私の決意を申し上げ、議長選挙における所信といたします。